

実力テストはどうでしたか。修学旅行から戻り、日曜日、代休、そして、臨時休業と三連休になり、なかなか通常のペースに戻らない様子が見られましたが、いざ実力テストとなると真剣に取り組む姿が見られました。切り替えは大切ですね。問題が回収されたため、すぐには見直しをすることはできないかもしれませんが、テストの後には見直しをする習慣をつけるようにしましょう。小さな努力の積み重ねが確かな力と自信につながっていきます。

さて、6月も残り少なくなり、夏休みまで1ヶ月をきりました。ここで、みなさんに意識して欲しいことが2つあります。それは、計画を立てること、見通しをもって取り組むことです。学習に取り組む際に、ぜひ計画を立てて取り組みましょう。入試までの長期の計画、それと1ヶ月あるいは2週間位の短期の計画の2つを立てることです。「実力テストで凸レンズの問題が全然わからなかったから、夏休みの前半は1年の理科の復習をしよう。1年生の学習内容を忘れていたから、後半は社会の復習をしよう。」など、大まかな計画でも立てようとする、何ができていて何ができていないのか、これまでの自分自身の学習を振り返ることができるはずです。

今後の予定（7～12月）

7月	三者面談①
夏休み	高校説明会などへの参加
9月	実力テスト
10月	第2回進路希望調査、三者面談②
11月	第3回進路希望調査
12月	実力テスト、三者面談③

計画を立てて学習に取り組むこと以外に、もう一つ意識して欲しいことがあります。それは、自分の進路先を決めていくための見通しです。どの学校を選ぶのか、自分で考え、保護者の方ともよく相談した上で、10月、12月の面談を経て決定していきます。（オープン受験を除く）私立の志望校については12月の月上旬に最終決定することになります。そのために、夏休みには自分が希望している学校の説明会や見学会に参加し、学校の雰囲気や特色について理解しておきましょう。いくつかの学校の見学をして、「この学校に入学したい。」という思いが強くなったら、秋以降に行われる説明会にもう一度参加してください。さらに詳しい情報を得たり、（私立高校については）募集要項など必要な書類を入手したりしていく必要があります。

『第1回の進路希望調査』について、提出前に保護者の方と十分に話をしましたか。学校選びで大切なのは、まずは自分自身がその学校で何をしたいのか。なぜその学校に入学したいのか。学校を選ぶときに、何を第一に考えるのか、自分の考えを整理してみてください。部活動に力をいれたいと考えているなら、部活動体験に参加しておくことも大切です。朝練がある部活動なら、通学時間があまりかかる学校は厳しいかもしれません。入学した後に後悔しないように、しっかりと学校選びをおきましょう。

